

樋門・樋管合同点検を実施しました！

■日形排水樋管（北上川）



ゲート全閉確認

岩手河川国道事務所 一関出張所では5月13日～25日にかけて、本格的な出水期を前に、北上川の水門（樋門・樋管44箇所）の点検を行いました。

点検では、ゲート操作盤やゲート周りの点検、ゲート開閉の動作確認の他、洪水時の対応について水門等水位観測員と情報交換などを行いました。

■寺崎排水樋門（砂鉄川）



住宅側（川裏）の状況確認

■岩ノ下排水樋門（砂鉄川）

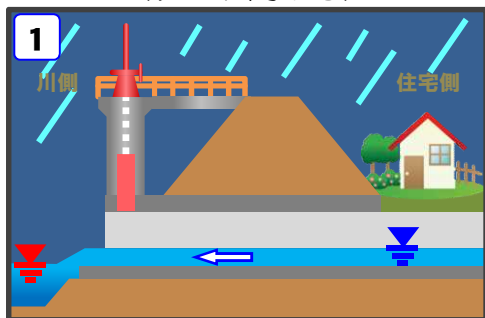


操作盤の確認

樋門・樋管の役割ってなに！？

樋門・樋管とは、本川の洪水時に、支川への逆流を防止するために河川堤防に設置している河川管理施設のことです。

〈ゲート開ける〉



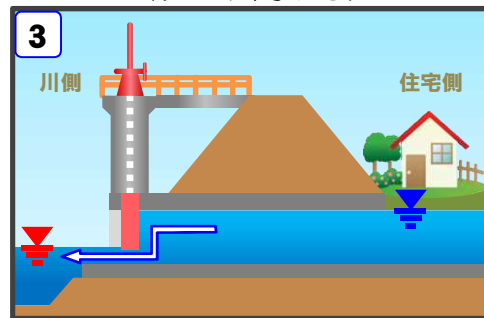
川の水位が低い時は、ゲートは開いているため、住宅側からの雨水等を川に排水している。（順流）

〈ゲート閉める〉



降雨で川の水位が上がると、川の水が住宅側に流れ込み（逆流）、浸水被害が発生するため、ゲートを閉める。

〈ゲート開ける〉



川の水位が低くなり、住宅側への逆流の心配が無くなったならゲートを開けて、住宅側に貯まった水を川に流す。

洪水から市街地等を守るために堤防などの河川施設はありますが、人の力を大きく超える洪水がいつやってくるかわかりません。そんな時のために、みなさんが住んでいる町には必ず「避難場所」があります。多くの場合は、学校や公民館などが指定されています。みなさんも、洪水ハザードマップなどを使って、近くの避難場所がどこなのか、その避難場所まで安全にいける道すじなどを、家族みんなで確かめましょう。



編集後記

半袖の学生さんを見かけるようになりました。夏ももうすぐやってきますね。今年の夏の気温は全国的に平年並みか高い予想だそうです。熱中症に気をつけましょう！（す）